

令和2年度事業計画書

※新型コロナウイルス感染症に伴い、中止・延期等内容変更箇所を()書きしています。

【概要】

淡路島くにうみ協会は、平成21年4月1日に財団法人淡路21世紀協会と財団法人淡路花博記念事業協会とが統合して発足した。

12年目を迎える令和2年度は、引き続きすべての島民の創意と行動力を結集して「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」を目指して、「淡路を担う人づくり」「花と緑豊かな環境づくり」「活気あふれる地域づくり」「あわじ環境未来島構想の推進」の4つの柱で淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進するとともに、淡路花博から20周年を記念し、初めての春期、秋期の2シーズン開催となる「花みどりフェア」の準備に万全を期して取り組む。

なお、事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の動向や国、行政の対応等を踏まえつつ、必要な措置を講じるなど、弾力的かつ効果的な運営に努めることとする。

【事業の内容】 ()内は予算額

I 淡路を担う人づくり

1 淡路島くにうみ講座 (4,254千円)

淡路島の活性化と人づくりを目的として、島内外の多くの人々が淡路島のすばらしい自然、歴史、文化等への理解を深める講座を開催する。

《実施回数》 6回程度 (※3回程度)

2 永田青嵐顕彰全国俳句大会 (2,867千円)

淡路島出身の偉人 永田青嵐(本名:永田秀次郎)の功績を全国に発信し、俳句文化を通じたふるさと意識の高揚や、交流人口の増加による淡路島の活性化を図るため、第12回目となる全国俳句大会を実施する。

《実施内容》

- ・投句募集
- ・俳句出前講座 3回程度
- ・俳句入門講座 3回連続講座 (※中止)
- ・淡路島吟行バスツアー
- ・表彰式・特別講演会

3 花づくり人材育成事業 (1,630千円)

(1) 花づくり講習会講師派遣事業

花づくり技術の向上や花づくり体験を目的とした講習会を開催する団体を対象に、花づくりの専門家(講師)の派遣費用及び材料費等一部を助成する。

- ・講師の派遣 15回程度(NPO法人あわじ緑花協会に委託)
- ・派遣対象 自治会、花づくりグループ等

(2) まちづくりガーデナー奨励事業

淡路島で花と緑のまちづくり活動に取り組むため、県立景観園芸学校で学び、「まちづくりガーデナー」として知事認定を受けた者に受講料の一部を助成する。

(3) 花みどりフェア記念「あわじ花と緑のコンクール」【新規】

四季折々の花や緑を大切に育てている個人、学校、事業所、グループが育てた花と緑の花壇や庭等の活動の成果を競うコンクールを春と秋の2回に分けて募集し決定する。

II 花と緑豊かな環境づくり

1 淡路花祭 (15,465 千円)

花と緑あふれる公園島淡路の創造のため、関係機関・団体と連携・協働し、全島をあげて花と緑に関するイベントを開催する。

(1) 淡路花祭 2020 春

・期 間 令和2年3月20日(金祝)～5月31日(日)

《主要事業》

・フォトスポット用オブジェ「AWAJI」と島民花飾りの展示(洲本市民広場)

・お絵かき花壇づくりコンテスト(国営明石海峡公園)

・花物語クイズラリー

・第8回淡路花祭フォトコンテスト

※ 初日(3月20日(金祝))に予定していた「花祭2020春オープニング」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

(2) 淡路花祭 2020 秋

~~花みどりフェア<令和2年9月19日(土)～11月3日(火祝)>の関連イベントとして実施~~
(花みどりフェアプレイベント<令和2年9月19日(土)～11月中旬>として実施)

(3) 2021 冬咲きチューリップショー

花の少ない冬季に、新たな花の名所づくりを目的として冬咲きチューリップショーを開催する。

・期 間 令和3年1月～2月

・場 所 洲本市民広場ほか

(4) 淡路花祭 2021 春

花みどりフェア<令和3年3月20日(土)～5月30日(日)>イベントとして実施

2 花街道づくり事業 (3,106 千円)

観光客等からよく見える国道・県道又は交通量が多い市道沿いの花壇等を利用して、住民の参画と協働による花による街道づくりを実施する個人・団体に対して上限20万円の助成を行う。

3 あわじ花へんろ事業 (7,240 千円)

花の島・淡路島の魅力を満喫していただくため、花の名所、景勝地、観光施設等72箇所を「花の札所」として紹介する。

《事業内容》

(1) 花の札所拡充事業助成

花の札所の新規指定又は魅力向上に取り組む札所を支援するため、整備費等について上限20万円の助成を行う。

(2) 「花の札所」開花状況等情報提供促進奨励金の交付

花の札所をPRするために発行する「花の札所 花だより」の情報提供を年2回以上行った施設に対して各2万円の奨励金を交付する。

(3) 連絡会の開催 (※中止)

あわじ花へんろ事業の推進について意見交換を行う連絡会を開催する。
(連絡会の構成：花の札所管理者、淡路県民局、3市、淡路島くにうみ協会)

(4) 広報PR

- ① あわじ花へんろ花の札所スタンプラリー (巡礼大会) の開催
 - ア 花の札所スタンプラリー「四季のスタンプブック」(冊子版、リーフレット版) の作成
 - イ スマホ版WEBスタンプブックの運用及び情報発信
 - ウ スタンプラリー参加者プレゼントの実施 (10・20・35・72 スタンプの各コース)
- ② 「花の札所PRパネル」(淡路夢舞台の常設展示) の刷新 (72 施設分) 【新規】
- ③ 「2021 花の札所カレンダー」の作成 (令和2年12月)
四季折々の花の札所を特集した12月カレンダーを作成し、会員や関係機関に配布する。
- ④ 「花の札所 花だより」の発行 (毎月)
- ⑤ あわじ花へんろホームページやフェイスブックによる情報発信

4 環境美化事業 (495 千円)

「環境立島淡路」島民会議に参画し、「環境美化月間」及び「淡路全島一斉清掃の日」活動に係る広報活動を実施する。

Ⅲ 活気あふれる地域づくり

1 淡路花博 20 周年記念花みどりフェアの開催 (600,000 千円)

国際園芸・造園博「ジャパンプローラ 2000」(淡路花博) から 20 年を迎え、淡路花博がめざした人と自然との共生の理念を継承発展させるとともに、自然、歴史・文化、食など淡路島をはじめ兵庫の魅力を全国に発信する「淡路花博 20 周年記念 花みどりフェア」を、来年春期と秋期の 2 シーズンにわたり開催する。

当協会はその事業主体となる実行委員会の事務局を運営するとともに、その事業経費を負担する。

開催テーマ みなとつながる「花 緑 食の島」淡路

会期	秋期	2020年9月19日(土)～11月3日(火)	46日間
		※2020年9月19日(土)～11月中旬にイベント開催	
	春期	2021年3月20日(土)～5月30日(日)	72日間
	秋期	2021年9月18日(土)～10月31日(日)	44日間



会場 メイン会場 淡路夢舞台及び国営明石海峡公園、
洲本市中心市街地、淡路ファームパーク
イングランドの丘
サテライト会場 島内観光施設等

2 地域活性化助成事業 (4,000 千円)

淡路島の活性化を図ることを目的とした、まちおこし事業、地域交流事業、文化・芸術事業又は、国生み神話、御食国、日本遺産などの「国生みの島」に関連した事業を実施しようとする団体に対して経費の一部として上限 20 万円の助成を行う。

3 淡路島誘客支援事業 (14,750 千円)

「淡路花博 20 周年記念花みどりフェア」に来訪する団体、事業者へ経費の一部助成を行う。また、誘客キャンペーンを関西圏だけでなく首都圏へ向けても行うことで淡路島の魅力を広く発信しさらなる誘客を促進する。

《内容》

(1) 花みどりフェアバスツアー助成事業【新規】

貸切バスを利用して「淡路花博 20 周年記念花みどりフェア」関連の指定施設を来訪するバスツアーに対して経費の一部を助成する。

- ・日帰り バス 1 台当たり上限 1 万円
- ・宿泊 バス 1 台当たり上限 3 万円

(2) 淡路島誘客キャンペーン

淡路島観光協会が実施する関西圏を対象にした誘客 CM のテレビ・ラジオ放送、首都圏の主要書店等でのキャンペーン、映画館での CM 放送等の取組を支援する。

4 淡路島インバウンド対応推進事業 (1,600 千円)

県民局等関係団体と連携してファミトリップや現地旅行博への出展を行うなど淡路島の魅力的な観光情報を国内外へ発信し、訪日外国人客の淡路島への誘客を促進する。

5 淡路島観光協会支援事業 (6,300 千円)

淡路島総合観光戦略を推進するうえで必要な情報発信の強化や多様なコンテンツの開発、マーケティングによる観光客の動態調査など新たな課題に対応していくため、その中心的役割を担う淡路島観光協会の体制強化と事業の実施を県及び 3 市とともに支援する。

6 淡路島ブランド広域推進助成事業 (1,500 千円)

淡路島内の地場産品を利用して、魅力ある「淡路島ブランド」を創出・育成し、広域的に事業展開をする団体に対して経費の一部として上限 50 万円の助成を行う。

7 活力創生プロジェクト支援事業

(1) 淡路島ロングライド 150 支援事業 (3,080 千円)

秋に開催を予定している「淡路島ロングライド 150」の実行委員会に参画し、運営経費の一部を負担するとともに、県及び淡路 3 市と協力して 4 箇所のエイドステーション(休憩所)で淡路島の食材を使ったふるまい等を行う。(※中止。代替イベントの開催を検討中。)

(2) 明石海峡大橋橋上イベント事業

本四道路活用イベント実行委員会に参画し、地域の魅力発信のためのイベントを実施する。

ア 明石海峡大橋海上ウォーク

明石海峡大橋の管理用通路歩行

《実施予定日》

- ・第 1 回目：令和 2 年 5 月 16 日(土)・17 日(日) 計 2,400 名 (※中止)
- ・第 2 回目：令和 2 年 11 月 7 日(土)・8 日(日) 計 2,400 名

イ 大鳴門橋うずしおウォーク (※中止)

大鳴門橋の管理用通路歩行

《実施予定日》

- ・令和 2 年 9 月 5 日(土)・6 日(日) 計 540 名

(3) 広域連携イベント等支援事業 (4,000 千円)

淡路全島の行政、各種団体等が参画して実施されるスポーツ等のイベント、島外での淡路島のPR、自然環境保全の取組などを支援する。

(4) Awaji Art Circus 支援事業 (260 千円)

海外アーティストによる淡路島の地域資源も活用した国際アートフェスティバルの開催を支援する。

8 フィルムオフィス事業 (6,000 千円)

淡路島内での映画、テレビ、CMなどのロケ撮影に際し、ロケ場所の紹介、撮影コーディネーター、エキストラの手配、撮影スタッフの宿泊斡旋等の支援を行っている「淡路島フィルムオフィス」の運営経費を負担するとともに、その事務局を運営する。

9 淡路島日本遺産推進事業 (1,410 千円)

平成 28 年 4 月に認定された淡路島日本遺産の認知度を高め、交流人口の増加による地域活性化に寄与するため島内 3 市、県民局等で組織する「淡路島日本遺産委員会」に参画し、事業を推進する。

10 令和の「御食国」プロジェクト (500 千円)

御食国と呼ばれる淡路島の多彩な「食」分野を担う専門人材を育成する実践的な高等教育機関（専門職大学）の開設など食を核とした地域活性化に向けた取り組みを支援する。

11 サイクリングアイランド淡路推進事業 (1,000 千円)

県、島内 3 市及び淡路島観光協会と連携し、全国的に知名度のある琵琶湖やしまなみ海道等と共同して周遊スタンプラリーなどのPR事業を実施し、サイクリストの誘客を促進する。

IV あわじ環境未来島構想の推進

恵まれた特性を有しながら、人口減少・経済縮小等の課題に直面する淡路島で、地域資源を生かして、「生命つながる持続する環境の島」を目指す「あわじ環境未来島構想」の実現に向けて、県・市・住民・地域団体・企業等と協働して取り組む。



【取組の3本柱と地域の将来目標】

- 1 あわじ環境未来島構想推進協議会の運営 (1,900 千円)
住民、地域団体、NPO、企業、行政等が幅広く参画する協議会を設置・運営する。
- 2 環境未来島シンポジウムの開催 (3,000 千円)【新規】
「あわじ環境未来島構想」に掲げる「エネルギーの持続」の取り組みを推進するため、エネルギー需給の新たな取組みや制度について議論を深め、次代につながるエネルギー施策を考える機会となるシンポジウムを開催する。
- 3 あわじ環境未来島構想の啓発推進 (1,500 千円)
構想の意義や取組についてセミナーの開催やホームページ、小学生用副読本等により広く周知啓発を行い、島民自らが持続可能な地域づくりへ取り組む機運を醸成する。
 - (1) あわじ環境未来島構想見学セミナーの開催
構想のより一層の普及啓発を図るため、あわじ環境未来島構想に基づき島内で展開されているプロジェクト現場等を見学するセミナーを開催し、構想の意義や取組について啓発する。
 - (2) あわじ環境未来島副読本の作成
副読本を小学生高学年等に配布し、総合学習などの授業で活用することで、構想への理解を深め、子ども達が淡路島の将来を考えるきっかけとする。
 - (3) あわじ環境未来島情報発信事業
「あわじ環境未来島構想」専用ホームページの維持管理を行う。
- 4 「EVアイランドあわじ」の推進 (2,940 千円)
「あわじ環境未来島構想」の柱の一つである「エネルギーの持続」の推進のため、エネルギー効率が良く、CO₂削減効果の高い電気自動車 (EV) の普及に取り組む。
 - (1) EV タクシー・レンタカー導入補助
島内のタクシー、レンタカーを対象として、電気自動車の導入補助を行い、EV の導入促進を図る。
 - (2) EV 用充電器設置補助
EV タクシー、レンタカーの導入促進、充電インフラ整備を図るため、充電器の設置に対して補助を行う。
- 5 淡路島農と食の体験ツアーの開催 (500 千円)
島内外の一般消費者及び農と食に関心のある親子等を対象に、農作物のブランド化などの取組を進める農業生産法人等への現地見学や農業体験等ができる体験ツアーを開催し、「農と食の持続」を推進する。
- 6 あわじ竹資源エネルギー化の推進 (7,000 千円)
島内に豊富に存在する竹資源を、バイオマスエネルギーとして活用することにより、淡路島特有の再生可能エネルギーを創出するとともに、放置竹林の拡大を防止するため、地域住民が自ら行う竹林整備活動等に対して、資機材費などの支援を行う
- 7 エネルギーの地産地消の促進 (家庭用蓄電池の導入支援) (4,500 千円)
太陽光発電の自家消費対策として家庭用蓄電池を導入する島民に対して設備費の一部を支援することにより、家庭部門におけるエネルギーの地産地消を促進する。

- 8 住民参加型太陽光発電事業（住民参加型くにうみ太陽光発電所）（46,867 千円）
県立淡路島公園隣接用地に建設したメガワット級（約 1 MW）の太陽光発電施設を運用し、売電事業を行う。

V 普及啓発（16,000 千円）

「淡路花博 20 周年記念花みどりフェア」の開催にあわせて、当協会が実施する事業や「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」にふさわしい淡路島のイメージを島内外に広く発信する。

- 1 花みどりフェアを活用した広報【新規】
花みどりフェアメイン会場などで協会の活動を紹介するパネル展示、来訪者へノベルティグッズやチラシを配布するほか、花みどりフェア開催にあわせて情報誌などを活用して積極的に広報を実施する。
- 2 ホームページの運営及びリニューアル
当協会のホームページの維持管理、情報更新等を行うとともにより効果的な情報発信を行うためリニューアルを行う。
- 3 協会広報紙の発行
当協会の概要や事業を紹介する広報紙を作成し、配布する。
- 4 各種媒体を使った広報
ノベルティグッズ（花の種等）を配布するとともに、地元情報誌など各種媒体を通じて協会事業を紹介し広報を行う。
- 5 事業への協賛
行政機関、各種団体等が実施する事業に協賛する。